平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月１日

上場会社名　　株式会社ジェイテック　　上場取引所　大
コード番号　　2479　　ＵＲＬ　http://www.j-tec-cor.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤本 幸之助
問合せ先責任者　（役職名）執行役員財務本部長　　（氏名）茂木 和彦　　ＴＥＬ　03-6228-7265

四半期報告書提出予定日　　平成24年８月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	543	4.5	5	－	6	－	△4	－
24年３月期第１四半期	520	18.9	△8	－	△0	－	△3	－

（注）包括利益　　25年３月期第１四半期　　△4百万円　（－%）　　24年３月期第１四半期　　△2百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	△112.19	－
24年３月期第１四半期	△91.69	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第１四半期	943	441	46.7	10,559.00
24年３月期	867	450	51.8	10,774.63

（参考）自己資本　　25年３月期第１四半期　　440百万円　　24年３月期　　449百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	100.00	100.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		0.00	－	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	1,131	9.0	5	－	5	△42.4	2	△77.4	67.33
通期	2,293	8.5	46	24.7	46	△4.8	41	20.0	993.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：有
④	修正再表示	：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	41,748株	24年３月期	41,748株
② 期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	14株	24年３月期	14株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	41,734株	24年３月期１Ｑ	41,734株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られており、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州政府債務危機の再燃、電力不足や円高の継続など、先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループでは主力事業である技術職知財リース事業においては、経営課題である人材の確保と育成のために、質を重視した積極的な採用活動と社内研修及び社外サービスを活用した教育を行う事により、顧客のニーズにあった高いスキルをもつテクノロジストの確保と育成を行ってまいりました。

生産活動の回復や復興需要、国際競争力回復のための開発力強化などにより、当社グループの主要取引先である大手製造業では技術開発・製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者に対する需要が高いことから、当社グループでは、これらの企業に対して積極的な営業展開を行ってまいりました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高543百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益５百万円（前年同期は８百万円の営業損失）、経常利益６百万円（前年同期は0.5百万円の経常損失）、四半期純損失４百万円（前年同期は３百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①技術職知財リース事業

自動車関連、情報処理関連等の顧客企業からの取引が前年同期比増加した結果、技術職知財リース事業の売上高は532百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は80百万円（前年同期比43.3%増）となりました。

②一般派遣及びエンジニア派遣事業

子会社の株式会社ジオトレーディングの業績が堅調に推移したことにより、売上高は10百万円（前年同期比77.1%増）、セグメント利益は１百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の資産総額は943百万円となり、前連結会計年度末より75百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、売掛金の増加、敷金及び保証金の減少によるものであります。

負債総額は501百万円となり、前連結会計年度末より84百万円増加いたしました。これは主に未払費用の増加によるものであります。また純資産は441百万円となり、前連結会計年度末より８百万円の減少となりました。

なお、自己資本比率は46.7%と前連結会計年度末の51.8%に比べ5.1ポイント低下いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加（前年同期は62百万円の増加）し、511百万円となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は45百万円となりました。これは主に賞与引当金の減少43百万円、売上債権の増加12百万円、法人税等の支払額７百万円による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益６百万円、未払費用の増加97百万円、退職給付引当金の増加３百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は25百万円となりました。これは無形固定資産の取得による支出0.5百万円等による資金の減少があったものの、敷金及び保証金の回収による収入25百万円により資金が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は16百万円となりました。これは主に配当金の支払額３百万円等による資金の減少があったものの、短期借入金の増加20百万円により資金が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期及び通期業績予想につきましては、主力事業である技術職知財リース事業において、国内景気は回復傾向にあるものの、主要取引先の製造業全体を取り巻く環境が依然として厳しいことから業界動向を推測しづらいこともあり、当初予想通りとしております。

以上より、平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年５月７日に公表いたしましたとおり売上高2,293百万円、営業利益46百万円、経常利益46百万円、当期純利益41百万円としております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	424,956	511,916
売掛金	260,043	272,568
繰延税金資産	18,852	18,373
その他	22,717	26,409
貸倒引当金	△159	△162
流動資産合計	726,409	829,104
固定資産		
有形固定資産	22,986	21,686
無形固定資産	4,259	4,221
投資その他の資産		
敷金及び保証金	99,439	73,418
その他	14,884	14,661
投資その他の資産合計	114,324	88,080
固定資産合計	141,570	113,987
資産合計	867,979	943,092
負債の部		
流動負債		
短期借入金	110,000	130,000
未払費用	53,984	151,129
未払法人税等	9,296	11,867
賞与引当金	83,525	40,328
その他	79,826	84,449
流動負債合計	336,632	417,774
固定負債		
退職給付引当金	78,213	81,428
その他	3,002	2,756
固定負債合計	81,215	84,185
負債合計	417,848	501,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,357	255,357
資本剰余金	252,668	248,495
利益剰余金	△59,335	△64,017
自己株式	△659	△659
株主資本合計	448,031	439,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,636	1,492
その他の包括利益累計額合計	1,636	1,492
新株予約権	462	462
純資産合計	450,131	441,132
負債純資産合計	867,979	943,092

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	520,299	543,563
売上原価	384,553	385,115
売上総利益	135,746	158,448
販売費及び一般管理費	144,545	152,579
営業利益又は営業損失（△）	△8,798	5,868
営業外収益		
受取配当金	39	49
助成金収入	8,830	375
消費税等調整額	256	273
その他	11	5
営業外収益合計	9,138	704
営業外費用		
支払利息	422	134
株式交付費	450	－
営業外費用合計	872	134
経常利益又は経常損失（△）	△532	6,439
特別損失		
投資有価証券評価損	13	－
投資有価証券売却損	1,362	－
特別退職金	1,200	－
特別損失合計	2,576	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△3,108	6,439
法人税、住民税及び事業税	6,032	10,642
法人税等調整額	△5,315	479
法人税等合計	717	11,121
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△3,826	△4,682
四半期純損失（△）	△3,826	△4,682

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△3,826	△4,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,252	△143
その他の包括利益合計	1,252	△143
四半期包括利益	△2,574	△4,825
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,574	△4,825
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△3,108	6,439
減価償却費	1,030	1,904
投資有価証券評価損	13	－
受取利息及び受取配当金	△39	△49
支払利息	422	134
賞与引当金の増減額（△は減少）	△31,544	△43,197
株式交付費	450	－
売上債権の増減額（△は増加）	△12,474	△12,525
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,872	3,214
未払金の増減額（△は減少）	8,847	543
未払費用の増減額（△は減少）	89,911	97,145
未払消費税等の増減額（△は減少）	2,708	1,106
預り金の増減額（△は減少）	△436	1,936
その他	△4,336	△4,096
小計	53,317	52,555
利息及び配当金の受取額	39	49
利息の支払額	△426	△294
法人税等の支払額	△3,290	△7,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,639	45,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△988	－
無形固定資産の取得による支出	－	△565
投資有価証券の売却による収入	4,502	－
敷金及び保証金の差入による支出	△143	△110
敷金及び保証金の回収による収入	141	25,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,512	25,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	11,664	20,000
配当金の支払額	△1,295	△3,138
リース債務の返済による支出	△111	△163
その他	△450	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,806	16,698
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	62,958	86,960
現金及び現金同等物の期首残高	348,375	424,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	411,334	511,916

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）１
	技術職知財リース事業	一般派遣及びエンジニア派遣事業	計		
売上高					
（１）外部顧客への売上高	514,090	6,209	520,299	－	520,299
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	514,090	6,209	520,299	－	520,299
セグメント利益又は損失（△）	56,489	1,378	57,867	△66,665	△8,798

（注）１ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
２ 調整額（66,665千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）１
	技術職知財リース事業	一般派遣及びエンジニア派遣事業	計		
売上高					
（１）外部顧客への売上高	532,568	10,995	543,563	－	543,563
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	532,568	10,995	543,563	－	543,563
セグメント利益	80,949	1,913	82,863	△76,994	5,868

（注）１ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
２ 調整額（76,994千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。